

# 性感染症

## 1 , 性感染症とは

性感染症とは、性行為によって感染する疾患の総称です。性行為にも様々な方法があり、膣でのセックス、オーラルセックス、アナルセックス等あります。これらの性行為によって分泌された精液や膣分泌液が、性器、口、腸等の粘膜につくことによって、性感染症に感染します。

性感染症は免疫力がありませんので、一度性感染症に感染した人でも、再度感染する可能性があります。予防をしなければ、誰もが感染者になり得ます。

## 2 , 性感染症の種類

性感染症には様々な種類があります。代表的な感染症とその潜伏期間、感染経路、治療内容を次に挙げています。各感染症の症状には個人差・男女差があります。また下記に主な症状を記載していますが、なかには全く症状がないまま病気が進行してしまう場合がありますので、ご注意ください。

### HIV感染症

主な症状	男女共通；自覚症状のない時期が長く続きます。HIV感染に気づかず、治療をせずにいると、免疫力がだんだん弱まり、本来なら自分で防御出来るような菌やウイルスによる様々な病気を引き起こすようになります。
潜伏期間	HIV感染に気づかず治療をしなかった場合、AIDS発症まで数年～10年以上
感染経路	性的接触により感染します。輸血による血液感染や母子感染もあります。 通常の社会生活での接触や飛沫によって感染することはありません。
治療	HIVの増殖を押さえる抗HIV薬が使用されます。
予防法	コンドームの使用

### 梅毒

主な症状	男女共通；しこりができます。太股の付け根がはれます。感染より約3ヵ月後、全身の皮膚に皮疹が現れます。感染後3～10年後、神経や血管等に重い障害が出ます。
潜伏期間	約3週間
感染経路	性的接触により感染します。輸血による血液感染や母子感染もあります。
治療	抗生物質を服用します。
予防法	コンドームの使用

### 性器クラミジア感染症

主な症状	女性；ほとんど無症状です。放置しておく、卵管炎を引き起こし、子宮外妊娠や不妊症の原因となります。さらに上腹部へ感染が広がると、肝周囲炎を引き起こします。 男性；排尿時に痛みがあります。また膿が出る事もあります。治療せずに放っておくと、前立腺炎や血精液症になる事もあります。
潜伏期間	2 日から6 週間（通常10～12 日）
感染経路	性的接触により感染します。オーラルセックスにより喉に感染する事もあります。
治療	抗生物質を服用します。
予防法	コンドームの使用

### 淋菌感染症

主な症状	女性；おりものが増加します。しかし、無症状の場合もあります。進行すると、子宮頸管炎となり、子宮外妊娠や不妊症の原因となります。 男性；排尿時に痛みやかゆみを伴います。また排尿時に膿が出ます。放置すると、精巣上体炎になることもあり、また治療後に無精子症になる事もあります。肛門や直腸に感染した場合は無症状です。
潜伏期間	2 日から9 日
感染経路	性的接触により感染します。オーラルセックスにより喉に感染する事もあります。 またアナルセックスにより、肛門、直腸にも感染します。
治療	抗生物質を服用します。
予防法	コンドームの使用

### 性器ヘルペス

主な症状	男女共通；激しい痛みがあります。性器に水ぶくれが発生し、その後に潰瘍となります。 オーラルセックスやキスで口に感染する場合もあります。
潜伏期間	3 日から7 日
感染経路	性的接触により感染します。オーラルセックスにより喉に感染する事もあります。
治療	抗ヘルペスウイルス薬を投与します。
予防法	コンドームの使用

### HPV（ヒトパピローマウイルス）：尖圭コンジローマ・子宮頸がん

主な症状	【尖圭コンジローマ】男女共通；いぼができます。大きさは様々です。 【子宮頸がん】女性；主に無症状で経過し、子宮頸部がんになる場合がある。
潜伏期間	1 ヶ月から6 ヶ月（通常2ヶ月から3ヶ月） *子宮頸がんについては、数十年たって癌化することもあります。
感染経路	性的接触により感染します。
治療	【尖圭コンジローマ】液体窒素による凍結療法や炭酸ガス・レーザーによる治療が行われます。 【子宮頸がん】病気の進行に応じて手術療法・放射線療法・化学療法をおこないます。初期の場合は、子宮を温存することもできます。
予防法	コンドームの使用・ワクチン接種

### 性器カンジダ症

主な症状	女性；ヨーグルト状の白いおりものがあり、強いかゆみを伴います。 男性；白いコケのようなものが表れます。かゆみがあります。
潜伏期間	数日。体調が悪い時に症状が現れる場合もあります。
感染経路	性的接触により感染します。もともと体内にいる菌ですので、それが原因で症状が出る事もあります。
治療	抗真菌薬を使用します。
予防法	コンドームの使用

### B型肝炎

主な症状	男女共通：全身倦怠感（だるさ）、食欲がない、濃い色の尿が出る、発熱、黄疸（体や白目が黄色っぽくなる）が現れる。これらの症状が急に発症することがあるので、注意が必要です。
潜伏期間	1 ヶ月から6 ヶ月
感染経路	性的接触により感染します。輸血による血液感染や母子感染もあります。
治療	ほとんどの人が抗体を作り自然治癒しますが、症状によっては、抗ウイルス療法や免疫療法などの治療がおこなわれます。
予防法	コンドームの使用・ワクチンの接種

### アメーバ赤痢

主な症状	男女共通：大腸炎（下痢・粘血便・下腹部痛など）や、肝の一部が炎症し、膿がたまる（発熱・上腹部痛・寝汗など）などの症状が起こる。
潜伏期間	2～4週間（最短で数日、最長で数ヶ月に及ぶこともある。）
感染経路	性的接触では、肛門と口唇が直接接触することによって、口から感染します。
治療	内服薬による薬物療法をおこないます。
予防法	アナルセックスの際はコンドームを使用。肛門と口との接触は避ける。

\* その他にも、ケジラミ症、膣トリコモナス症など、様々な性感染症があります。

## 3、予防方法

性感染症を予防するには・・・

性行為をしない

性行為時には確実にコンドームを使用する

（オーラルセックス時、アナルセックス時も必ず使用する事）

自分と相手のどちらかが「セックスをしない」もしくは「コンドームを使用する」と選択したら、その意見が尊重されなければなりません。

予防接種をする。

全ての性感染症に、予防接種はありませんので、性行為時には、コンドームを使用する必要があります。

#### 4 , 性感染症に感染した場合

コンドームを用いずにセックスをした場合、コンドームは使用したが、途中で破れたり外れたりした場合、性感染症の症状がある場合は、出来るだけ早めに医療機関を受診して下さい。

男性は泌尿器科、女性は婦人科で検査、診察をしてもらえます。早期に発見・治療が開始できれば、治癒、もしくは病気の進行を抑える事が出来ます。

性感染症と診断された場合は、必ずパートナーも一緒に根気よく治療を続け、お互いが治癒するまで性行為をしてはいけません。

ヘルスクリニックでは、性感染症も含め様々な健康相談を受け付けており、必要に応じて医療機関の紹介も行っています。

困った時や正しい情報が必要な時は、一人で悩まずに、ヘルスクリニックまで相談してください。

APUヘルスクリニック

E-mail: [clinic@apu.ac.jp](mailto:clinic@apu.ac.jp)